

2018 社 会

注 意

1. 試験時間は、11：45～12：15の**30分**です。
2. 問題は **1**・**2**の2つです。
3. 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
4. 解答はすべて**解答用紙**に書きなさい。
5. 先生の指示があるまで、問題用紙をあけてはいけません。
6. 問題についての質問はうけつけません。
7. 試験が終わったら、解答用紙を裏返しにしておきなさい。

- 1 日本の食文化について書かれた時代ごとの文を読み、各問いに答えなさい。

旧石器時代から古墳時代の食生活

旧石器時代には木の実や川魚、ウサギなどの小動物以外に①ナウマンゾウのような大型動物も食べていた。獲物を求めてあちこちを移動して暮らし、黒曜石で作った石器を用いて狩りをした。

新石器時代にあたる縄文時代には土器が作られるようになったため、アクを抜いて食べるドングリやトチの実が多く食べられるようになった。②木の実と肉を混ぜてクッキーのようなものを作った。黒曜石で矢じりを作り、いろいろな種類の動物を狩りでとった。網を使用して漁を行ったほか、アサリなどの貝類も大量に採集した。

弥生時代には畑でアワ、ヒエなどの穀物が栽培され、雑炊のようにしてスプーンで食べていた。海水から塩を採って保存食を作った。③『魏志倭人伝』によると野菜をよく食べていたことがわかる。ブタやニワトリが飼育されるようになった。

- 問1 下線部①について、ナウマンゾウがナウマンによって発見された湖を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 諏訪湖 イ 野尻湖 ウ 浜名湖 エ 猪苗代湖

- 問2 下線部②について、この食品を作るのに使用した道具を、次の図ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア



イ



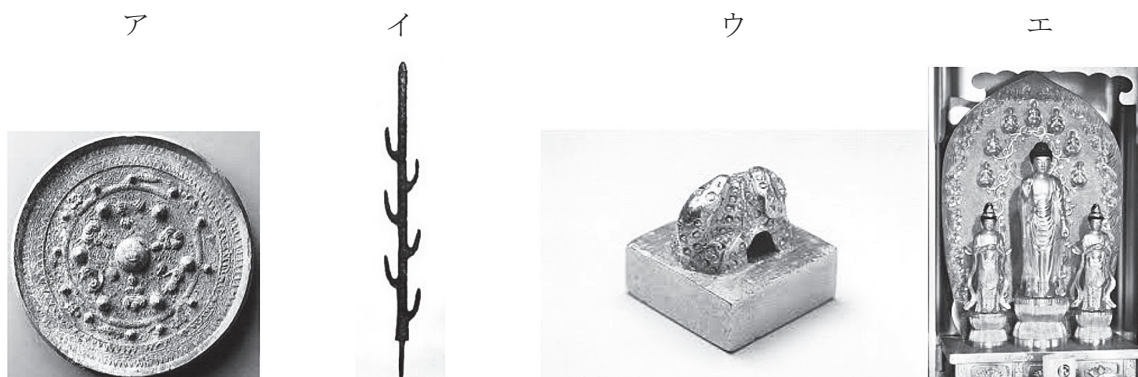
ウ



エ



問3 下線部③について、『魏志倭人伝』には邪馬台国の女王卑弥呼が中国の魏より品物をもらったことが記されている。この品物と考えられているものを次の図ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



飛鳥時代から平安時代の食生活

飛鳥時代になると身分により食べるものが大きく異なってきた。④遣隋使が中国より箸の使い方を学んで帰った。奈良時代には律令制度の下で農民に土地があたえられ、米が大量に作られるようになったが、重い税や労役をいやがって逃げ出す人が多く、⑤朝廷が対策を考えるようになった。遣唐使が唐より麦で作った麵料理や茶をもたらした。平安時代になると⑥仏教の影響が強くなり、肉を食べない人が増えた。貴族の力が強まり、ぜいたくな食事を楽しむ人々もいたが、庶民は貧しい食事のままであった。

問4 下線部④について、遣隋使について述べた次の文ア～エから正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 遣隋使に同行した留学生や留学僧は帰国後、政治などの分野で活躍した。
- イ 日本は隋に貢物を持っていき、隋の家来として服従することとなった。
- ウ 遣隋使の代表であった阿倍仲麻呂は二度も中国へ渡った。
- エ 隋の戦争を知った菅原道真は遣隋使の廃止を天皇に進言した。

問5 下線部⑤について、そのうちの1つとして出された、本人、子、孫の代に土地の私有が認められるという内容の法律の名を答えなさい。

問6 下線部⑥について、平安時代の仏教について述べた次の文ア～エから、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 最澄は中国から天台宗を伝え、都市ではなく山の上に延暦寺を建立した。

- イ 中国の高僧鑑真が、僧侶の決まりである戒律^{かいりつ}を伝え、戒壇院^{かいだんいん}ができた。
- ウ 空海は中国より真言宗を伝え、仏の言葉で呪文^{じゆもん}を唱える祈祷^{きとう}を行った。
- エ 阿弥陀如来に救いを求める浄土教がさかんになり、極楽浄土をあらわした寺院が建立された。

鎌倉時代から江戸時代の食生活

武士は激しい活動に必要な栄養をとるため苦心し、仏教で禁ずる肉を狩りで手に入れて食べることもあった。煮物^む、蒸し物、汁物^{つけもの}、漬物など今日の和食のもとになる調理法が完成した。⑦禅宗の僧侶が中国から抹茶や菓子などをもたらした。室町時代には一日3回食事をするようになった。

戦国時代には戦が多く、武士たちは握り飯^{にぎ}を焼いて竹の皮などに包んで戦いに持っていった。西日本に⑧スペイン人・ポルトガル人が来航し、⑨カステラ、てんぷら、コンペイトウなどを伝え、料理の種類が増えた。

江戸時代の武士は年貢で集めた米に自宅の庭で作った野菜を漬物にして食べていた。たまに魚を食べることがあった。町人も同じような食事を食べていたが、⑩ソバや寿司などの店を利用することもたまにあった。農民は⑪年貢が重く、白米はあまり食べることができなかった。

問7 下線部⑦について、道元は中国で食事係の僧侶から多くを学び、帰国後、食事や掃除^{そうじ}などの生活を修行として大切にすることを伝えました。道元が伝えた宗派の名を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

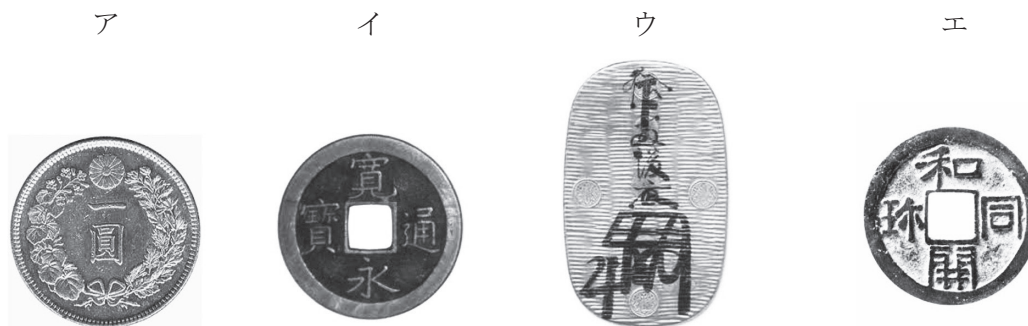
- ア 臨済宗 イ 浄土真宗 ウ 法華宗 エ 曹洞宗

問8 下線部⑧について、平戸や長崎に来航したスペイン人・ポルトガル人を日本人は何と呼びましたか。

問9 下線部⑨について、西洋の菓子には日本にない材料を使うため作れないものがありました。カステラはたまたま日本にある材料で作ることができて広まりました。次のア～エのうち、カステラに使用しない材料を1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 乳製品 イ 小麦粉 ウ 卵 エ 砂糖

問10 下線部⑩について、江戸時代のソバの価格は16文の店が多かった。この時代に使われた銭貨を次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



問 11 下線部⑪について、江戸時代中期に年貢の割合を 4 割から 5 割に増やし、収入の安定をはかった将軍の行った改革を、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア 天保の改革 イ 寛政の改革 ウ 安政の改革 エ 享保の改革

明治時代以降の食生活

横浜などに来た外国人の肉食をまねて、⑫^{ぎゅうなべ}牛鍋を食べる人もいた。⑬国の方針で西洋風の生活をするよう^{すす}勧められていた上流階級の人々は洋食を食べる機会があったが、庶民^{しよみん}にはぜいたくなものだった。やがて、大正時代になると大衆食堂でコロッケ、カレーなどの洋食が食べられるようになった。

太平洋戦争後しばらくは食料が不足し、アメリカや⑭ユニセフの援助を受けたが、しだいに復興した。⑮経済成長とともにパン食などの西洋風の食生活が広がり、食事をテーブルでとる家庭が増えた。家電製品の発展により調理も便利になった。食料自給率が下がり、多くの食料を外国からの輸入に頼るようになった。

問 12 下線部⑫について、次の図は牛鍋を食べている場面です。この図の中から、牛鍋以外に西洋から取り入れられたものを、1 つ見つけて答えなさい。



問 13 下線部⑬について、日本が近代化したことを紹介するために鹿鳴館^{ろくめいかん}が建設され、外国人を招いて舞踏会^{ぶとうかい}を開きました。そこで着用された衣装を、次の図ア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。



問 14 下線部⑭について、ユニセフの名称として正しいものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|--------------|----------|
| ア 国連安全保障理事会 | イ 国連児童基金 |
| ウ 国連教育科学文化機関 | エ 国際通貨基金 |

問 15 下線部⑮について、戦後の食生活について述べた次の文ア～エを年代の古い順に並べ替え、記号で答えなさい。

- ア 学校給食法^{しこう}が施行され、コッペパンや牛乳が全国の学校給食で提供された。
- イ 初めてインスタントラーメンが大量生産され、爆発的に売れた。
- ウ ハンバーガー、ドーナツ、フライドチキンなどのファーストフード店が出現した。
- エ 新宿などの駅前にヤミ市が出現し、さまざまな物資が売り買いされるようになった。

2 次の文章は、日本の人口問題を説明した小学生向けの新聞記事です。この文章を読み、各問いに答えなさい。ただし文章は、もとの記事を一部変えています。

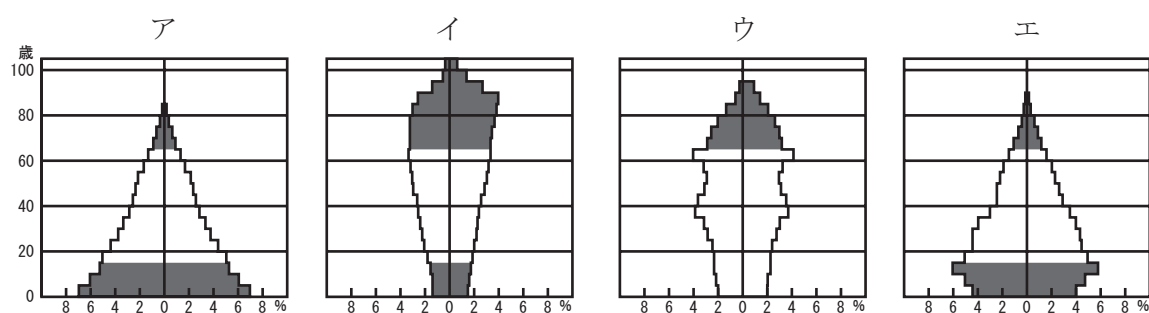
日本の人口は 1 億 2709 万人（2015 年現在）から、50 年後は 3 割減って 8808 万人になるー。そんな①将来人口推計^{こうれいか}が発表されました。日本が少子高齢化で、人口が減り続けているというニュースをよく耳にします。

人口問題が注目されたのはイギリスの経済学者マルサス（1766 ～ 1834 年）が書いた『人口論^{じんこうろん}』が始まりでした。（ ② ）だけでも、（ ③ ）だから、人口をコントロールしないと人々は餓えてしまう、と人口増加の問題を論じました。今の日本をはじめとする先進国が直面する少子化、高齢化、人口減少の問題とは逆でした。

ただ、食糧に限らず環境資源や政府のお金など、「1人がどれだけ使うのか、どれだけの人がいるからどのくらい必要か」と、人の数を使って考えることの重要性は変わっていません。④国や自治体による道路の整備や⑤衆議院議員選挙の小選挙区の区割りも人口にもとづいています。高齢者が受け取る年金や⑥地方の過疎の問題も人口が大きく関わっています。人口は社会のさまざまな問題を考える上での基本なのです。

人口では、単に人の数だけでなく、年齢や男女、職業、居住地域など、中身を見ることが大事です。例えば年金や医療、介護などの社会保障は、仕事に就いている現役世代の保険料や税金でお年寄りを支えるしくみです。現役世代が（ ⑦ ），お年寄りが（ ⑧ ）と、働き手の負担が（ ⑨ ）しまいます。（2017年5月7日付け「朝日小学生新聞」より）

問1 下線部①について、次のア～エの人口ピラミッドは、日本の1933年・1960年・2011年・2060年の年齢別の人口の割合を示したものです。ア～エを変化した順に正しく並べ替えなさい。ただし、2060年の人口ピラミッドは推定にもとづくものです。また、図の左側は男性の、右側は女性の人口を表している。



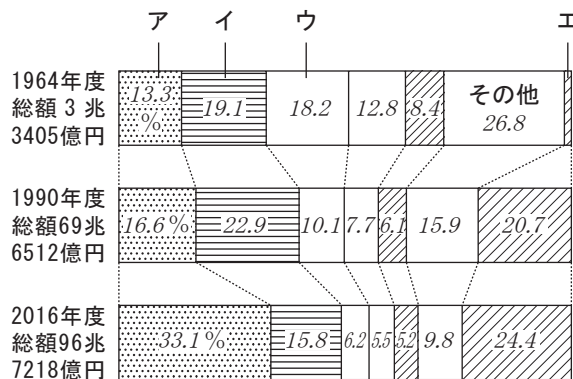
（「2013 人口の動向」ほかより作成）

問2 文中の（ ② ）と（ ③ ）にあてはまることばを、それぞれのア～エから1つずつ選び、記号で答えなさい。

- （ ② ） ア 人の数は急に増えるもの
 イ 人の数は急に減るもの
 ウ 人の数は徐々に増えるもの
 エ 人の数は徐々に減るもの
- （ ③ ） ア 食糧は急に増えるもの
 イ 食糧は急に減るもの
 ウ 食糧は徐々に増えるもの
 エ 食糧は徐々に減るもの

問3 下線部④のように、国や自治体によって、道路などの社会全体で利用するものやサービスを作り出すことを、公共事業とといいます。

(1) 次のグラフは、国の一般会計予算歳出の移り変わりを示したもので、グラフ中のア～エは公共事業費・国債費・社会保障関係費・地方交付税交付金のいずれかを示しています。公共事業費にあてはまるものを、グラフ中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



(2) 戦後に行われた公共事業について述べた次の文ア～エから、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本で2番目に大きかった湖を干拓して、機械化の進んだ稲作を行っている。現在、この県全体の米の生産量に占める割合は、コシヒカリが一番多い。
- イ 有明海の西に位置する湾の一部を干拓して農業用地をつくった。1997年に水門を開けてから、周辺ののりの養殖などに影響が出始め、漁民などが裁判を起こしている。
- ウ 本州四国連絡橋の1つで1998年に開通した。世界でも長さが有数の橋である。大阪市や神戸市に近く、交通量は3つの本州四国連絡橋の中でこの橋がもっとも多い。
- エ 東京都では建物や道路で地面がおおわれて雨水がしみこまず、一気に川に水が流れ込んで洪水が起きる。そこで公園や道路などの公共施設の地下に貯水池がつくられている。

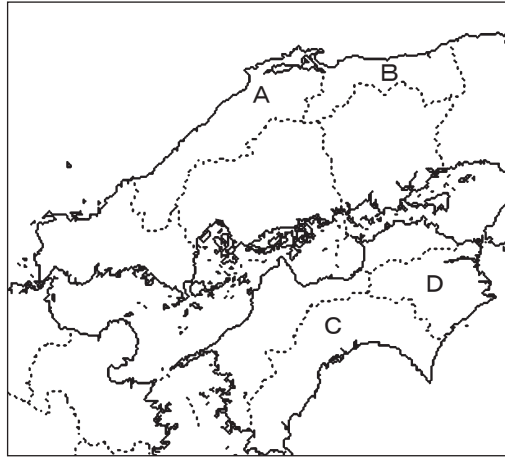
問4 下線部⑤について、選挙区の区割り、参議院の選挙区選挙でも人口を考えた上で決まります。そのため、2015年には次の地図中のAとB、CとDの県が1つの選挙区となる「合区」が行われました。A～Dの各県について説明した次の文ア～エから、AとCにあてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。また、それぞれの県の名前を漢字で答えなさい。

- ア この県には広大な砂丘が位置している。その砂丘ではかんがい施設が導入され、農地に変化したところもみられる。らっきょうやスイカ、なしなどの栽培がさかんである。
- イ この県は神話の舞台となった地域に位置し、大国主命をまつる由緒ある神社があることで知られている。江戸時代に栄えた銀山跡でも有名で、それは2007年に世界遺産

に登録された。

ウ 温暖な気候を利用した、なすやピーマンなどの^{そくせい}促成栽培がさかんである。漁業も発達し、マグロを中心とした遠洋漁業やカツオの一本釣りなどでも知られている。

エ 夏祭りで行われる踊りで全国的に有名である。この県を東西に横断するように大きな川が流れ、トンネルを通じて隣^{となり}の県にも水を送っている。

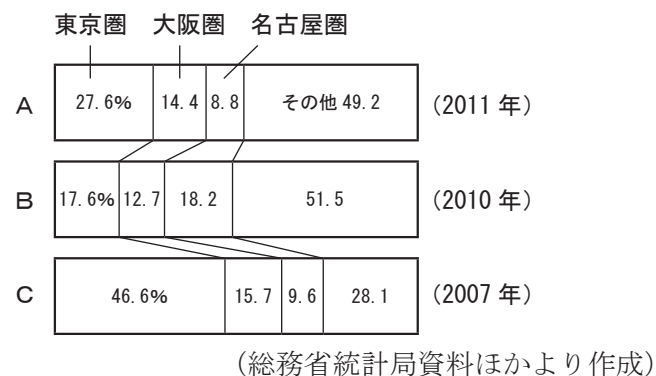


問5 下線部⑥について、次の地図を見て、以下の問いに答えなさい。



(1) 次のA～Cのグラフは東京・大阪・名古屋の三大都市圏の人口・工業製品出荷額・卸売業の販売額を示したものです。3つのグラフの組み合わせとして正しいものを、次のア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア A 卸売業の販売額 B 工業製品出荷額 C 人口
 イ A 人口 B 工業製品出荷額 C 卸売業の販売額
 ウ A 卸売業の販売額 B 人口 C 工業製品出荷額
 エ A 人口 B 卸売業の販売額 C 工業製品出荷額
 オ A 工業製品出荷額 B 人口 C 卸売業の販売額
 カ A 工業製品出荷額 B 卸売業の販売額 C 人口



(2) 三大都市圏では高度経済成長のころから周辺に市街地が広がり、開発が進んだ。これについて述べた次の文ア～エから、**まちがっているもの**を1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 東京の周辺では1960年代以降に丘陵を切り開き、多摩ニュータウンなどが建設されたが、最近は建物が古くなり、住民の高齢化が進んでいるところも多い。
 イ 名古屋市の周辺では新幹線や高速道路が利用できるほか、近年は中部国際空港も開港したが、内陸部につくられたため、騒音問題が発生している。
 ウ 大阪市の周辺では、かつて工業地帯だった臨海部にハリウッド映画を題材にしたテーマパークが建設されたほか、中心部の再開発も進められている。
 エ 東京湾の沿岸では、都心に近いことや海辺の環境などを利用してオフィスビルやショッピングモールなどのほか、高層マンションも建設されている。

(3) 三大都市圏を結ぶように続いている太平洋ベルトは、日本の工業の中心になっています。太平洋ベルトに位置する三大工業地帯と瀬戸内工業地域について述べた次の文ア～エから、**まちがっているもの**を1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 阪神工業地帯は自動車工業や先端技術産業が少なかったため、地位が低下したが、最近は液晶パネルの工場が建設され地位が大きく回復した。

- イ 中京工業地帯では、繊維機械から発展した自動車工業が工業地帯の成長を大きく促した。ほかにも航空機工業や陶磁器工業など特色ある工業が発達している。
- ウ 京浜工業地帯は、戦後日本最大の工業地帯であったが、1990年代以降は工場の移転や閉鎖が続いた。重化学工業のほかに印刷業が発達している。
- エ 瀬戸内工業地域では鉄鋼業や石油化学工業などが発達したが、重化学工業の地位が低下すると、内陸部に先端産業などを利用した工場がつくられるようになった。

- (4) 次の表は東京都・愛知県・大阪府の農業産出額(2014年現在)を示している。表中のA～Dは花き(草花)・果実・米・野菜のいずれかである。表をみるとこの3都府県ではBの作物が多くなっていることがわかる。

	A	B	C	D
東京都	1	173	32	48
愛知県	250	1,011	175	557
大阪府	77	141	52	19

(単位 億円)「2016 データでみる県勢」より

- ① Bの作物にあてはまるものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

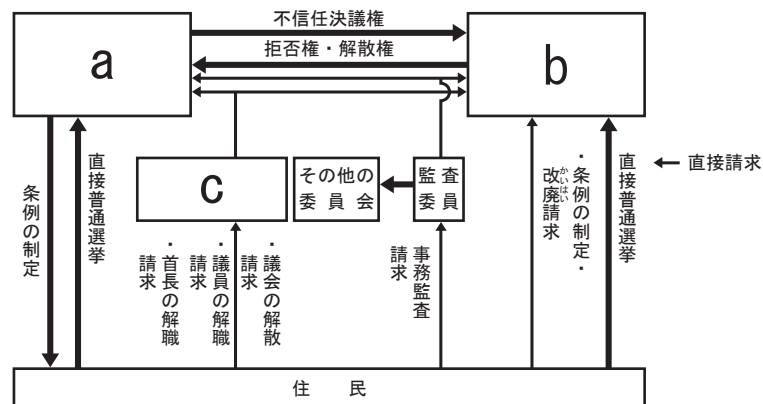
ア 花き イ 果実 ウ 米 エ 野菜

- ② この3都府県でBの作物が多いのはどうしてですか。15字以内で答えなさい。

- (5) 東京都では近年農畜産物のブランド化に力を入れ、「稲城の梨」などのブランドがあります。同じようにブランド化を進めている農畜産物や水産物とその生産地の組み合わせとして**まちがっているもの**を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 沖縄黒糖—沖縄県 イ 米沢牛—山形県
 ウ 比内地鶏—鹿児島県 エ 関さば—大分県

- (6) 地図中の大川村では高齢化が進んだため、村議会のかわりに住民が直接予算などを話し合う、「町村総会」を設置するかどうか検討された。「町村総会」の設置は地方自治法で定められています。次の図は地方自治法で定められた地方自治体のしくみを図に示したものです。図中のa～cにあてはまることばの組み合わせとして正しいものを、次のア～カから1つ選び、記号で答えなさい。



- ア a 議会 b 首長 c 選挙管理委員会
 イ a 首長 b 議会 c 選挙管理委員会
 ウ a 選挙管理委員会 b 首長 c 議会
 エ a 選挙管理委員会 b 議会 c 首長
 オ a 議会 b 選挙管理委員会 c 首長
 カ a 首長 b 選挙管理委員会 c 議会

(7) 次の表は、地図中の札幌・新潟・東京・那覇の降水量と気温を示しています。東京にあてはまるものを表のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
ア	気温 (°C)	-3.6	-3.1	0.6	7.1	12.4	16.7	20.5	22.3	18.1	11.8	4.9	-0.9	8.9
	降水量 (mm)	114	94	78	57	53	47	81	124	135	109	104	112	1107
イ	気温 (°C)	17.0	17.1	18.9	21.4	24.0	26.8	28.9	28.7	27.6	25.2	22.1	18.7	23.1
	降水量 (mm)	107	120	161	166	232	247	141	241	261	153	110	103	2041
ウ	気温 (°C)	2.8	2.9	5.8	11.5	16.5	20.7	24.5	26.6	22.5	16.4	10.5	5.6	13.9
	降水量 (mm)	186	122	113	92	104	128	192	141	156	160	211	217	1821
エ	気温 (°C)	5.2	5.7	8.7	13.9	18.2	21.4	25.0	26.4	22.8	17.5	12.1	7.6	15.4
	降水量 (mm)	52	56	118	125	138	168	154	168	210	198	93	51	1529

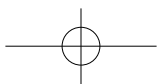
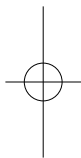
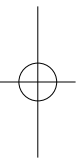
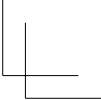
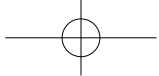
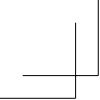
(気象庁資料ほかより作成)

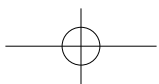
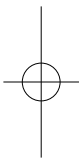
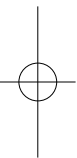
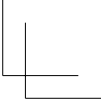
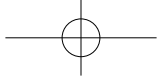
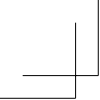
問6 文中の (⑦) ～ (⑨) にあてはまることばの組み合わせとして正しいものを、次のア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア (⑦) 減って (⑧) 増える (⑨) 増えて
 イ (⑦) 減って (⑧) 増える (⑨) 減って
 ウ (⑦) 減って (⑧) 減る (⑨) 減って

エ (⑦) 増えて (⑧) 減る (⑨) 増えて
オ (⑦) 増えて (⑧) 増える (⑨) 増えて
カ (⑦) 増えて (⑧) 増える (⑨) 減って

[問題はここまです。]





1

問 1		問 2	
問 3		問 4	
問 5		問 6	
問 7		問 8	
問 9		問 10	
問 11		問 12	
問 13		問 14	
問 15	→ → →		

2

問 1	→ → →													
問 2	(②)							(③)						
問 3	(1)							(2)						
問 4	A	記号		県名				C	記号		県名			
問 5	(1)							(2)						
	(3)													
	(4)	①												
	(4)	②												
	(5)							(6)						
	(7)							問 6						

受 験 番 号		フリガナ	
		氏 名	

得 点	
-----	--